

観光社会資本の事例

テーマ 水辺から「やすらぎ」を与える信濃川

【施設の状況写真】



遠くに弥彦山を望む信濃川。朱鷺メッセからの眺めは絶好のビューポイントとなっている。



整備された堤防は、人々の憩いの空間となっている。

【施設の利用写真】



整備された水辺は良好な景観を生み出し、観光船も運航されるようになった。



8月の新潟まつり、花火大会では緩やかな勾配の堤防が、絶好の見物席となっている。



【観光資源としての利用状況】

信濃川下流の堤防整備は、水の都・新潟の良好な水辺空間の創造に効果をもたらしました。重要文化財「萬代橋」と緩やかな斜面をもつ堤防、通称「やすらぎ堤」の眺めは抜群で、地元住民のみならず観光客からも評判となっている。

また、事業の実施によって良好な水辺空間が形成されたことにより、観光船が運航を開始するなど「水都にいがた」の観光資源として役立っています。

テーマ	水辺から「やすらぎ」を与える信濃川
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 やすらぎ堤</p> <p>○所在地 新潟県新潟市</p> <p>○事業名 信濃川本川下流改修事業</p> <p>○事業主体 北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所</p> <p>○事業期間 昭和58年～</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>○洪水対策(掘削と堤防で洪水を流れやすく)</p> <p>「やすらぎ堤」の整備は、川底を掘り下げるとともに、その掘削土砂を有効に利用して堤防を高くする事により、水の流れる断面積を大きくし、川の水が安全に流れるように改修しています。</p> <p>○地震対策(新潟地震を教訓として)</p> <p>昭和39年の新潟地震では、津波が信濃川を逆のぼり、信濃川の水位が上昇したり、新潟地震の時に堤防のほとんどが液状化現象等で損傷を受けたりしました。そのため、「やすらぎ堤」の断面は、地震に対して効果がある緩い勾配の堤防の採用や、液状化対策の工事も実施しています。</p>	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>信濃川ウォーターシャトル(株) http://www.watershuttle.co.jp/map.html</p> <p>信濃川下流河川事務所 http://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/</p>	

